

財政収支(2018年1-3月)

(1) 2018年1-3月における歳入は前年同期比15.7%増。所得税及び法人税が大きく伸び、税収は19.9%の増加となった。

(2) 歳出面では、人件費や資本的支出が前年同期から増となるなど、歳出全体では17.7%の増加となった。

(3) 財政収支は204億リラの赤字となり前年同期から36.9%の減少。プライマリーバランスは52.5%減少し、19億リラの黒字。

データ:財務省 単位:百万リラ

歳入・歳出内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	144,735	167,436	15.7%
税収	121,616	145,803	19.9%
所得税	24,972	30,537	22.3%
法人税	12,612	16,774	33.0%
付加価値税(国内及び輸入)	34,878	42,206	21.0%
特別消費税	28,080	31,832	13.4%
その他税収	21,074	24,454	16.0%
税外収入等	23,119	21,633	▲6.4%
歳出(b)	159,657	187,859	17.7%
人件費	41,904	48,227	15.1%
物品及びサービスの購入	11,053	13,187	19.3%
経常移転	71,426	74,338	4.1%
資本支出	4,991	13,797	176.4%
支払利子(c)	18,824	22,277	18.3%
その他歳出	11,459	16,033	39.9%
財政収支(a-b)	▲14,922	▲20,423	▲36.9%
基礎的財政収支(a-(b-c))	3,902	1,855	▲52.5%

経常収支(2018年1-2月)

(1) 2018年1-2月の経常収支は、前年同期比112.5%減少し、112億ドルの赤字。

(2) 貿易収支は前年同期比116.5%の減少、旅行収支は同31.1%の増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

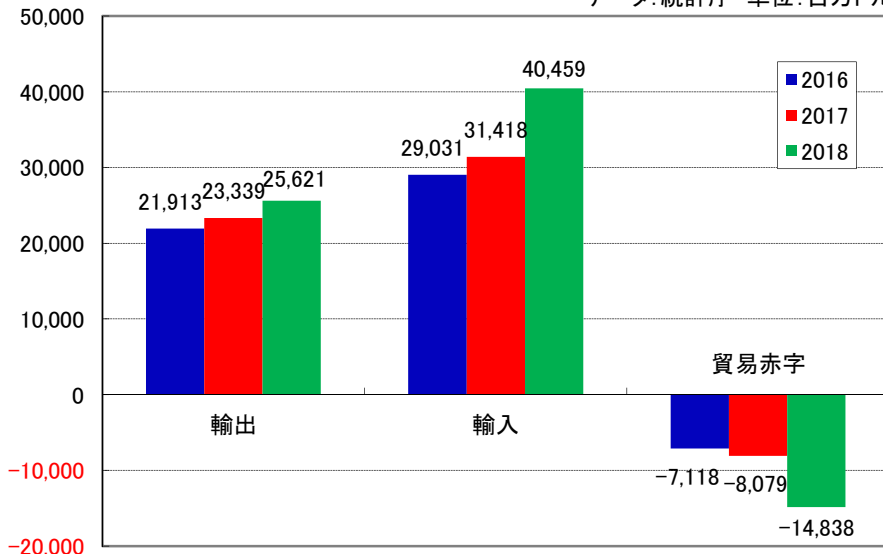
内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲5,266	▲11,191	▲112.5%
貿易収支(物品)	▲5,584	▲12,088	▲116.5%
サービス収支	1,109	1,750	57.8%
旅行収支	1,264	1,657	31.1%
その他サービス収支	▲155	93	160.0%
第1次所得収支	▲1,108	▲1,068	3.6%
第2次所得収支	317	215	▲32.2%
労働者送金	79	56	▲29.1%
その他第2次所得収支	238	159	▲33.2%
資本移転等収支	▲13	32	346.2%
金融収支	▲8,214	▲10,999	▲33.9%
直接投資	▲881	▲16	98.2%
証券投資	▲2,462	▲4,620	▲87.7%
その他投資	▲3,392	▲10,481	▲209.0%
外貨準備	▲1,479	4,118	378.4%
誤差脱漏	▲2,935	160	105.5%

貿易収支(2018年1-2月)

(1) 2018年1-2月の輸出額は256億ドル(前年比9.8%増)、輸入額は405億ドル(同28.8%増)となり、この結果、貿易収支は148億ドルの赤字(同83.7%減)となった。

(2) 2018年1-2月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は52.1%(前年46.4%)、輸入額におけるEU向け輸入の占める割合は35.1%(同35.5%)となっている。

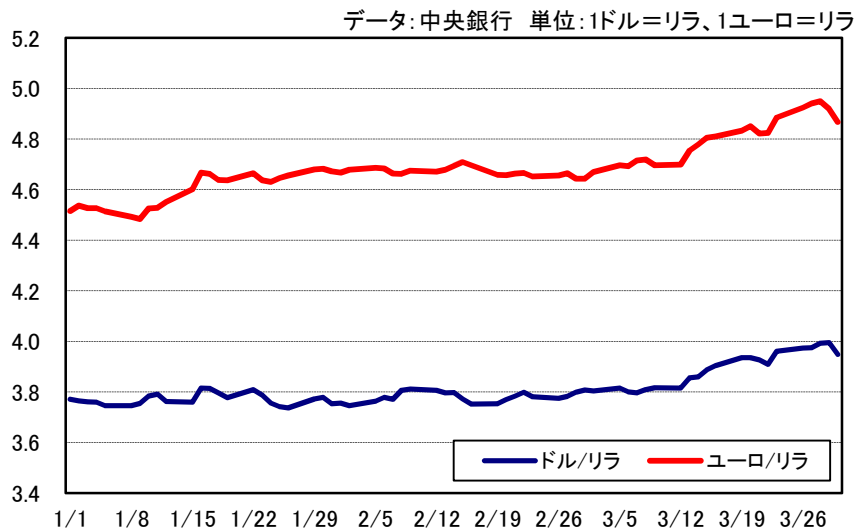
データ:統計庁 単位:百万ドル



為替(3月)

(1)3月のドル・リラ相場は、中旬以降、リラ安が進行。一時1ドル＝4リラの大台をうかがう展開となり、最終的には、1ドル＝3.95リラとなった。

(2)ユーロ・リラ相場もドルと同様の動き。一時1ユーロ＝4.95リラを超え、最終的に1ユーロ＝4.87リラで越月した。

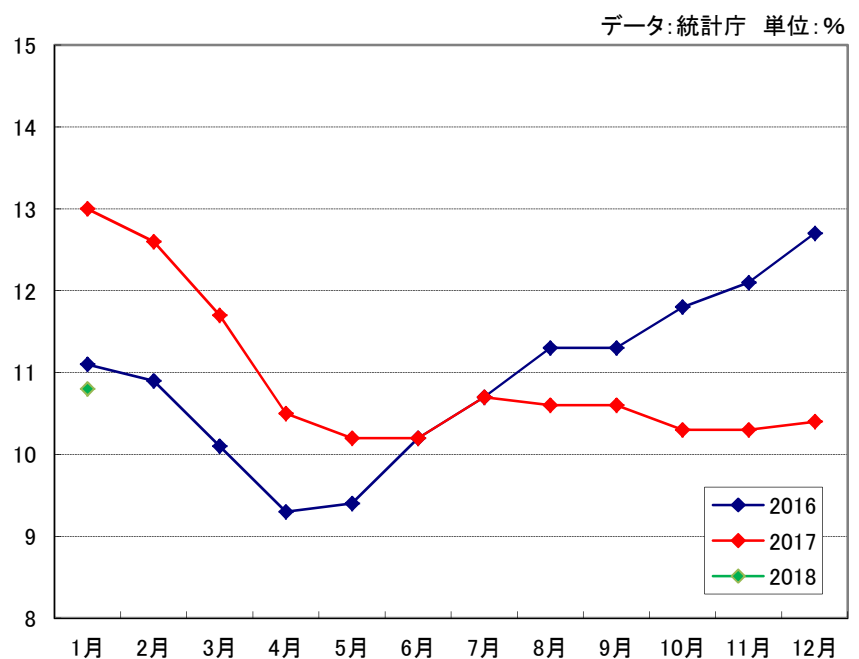


失業率(1月)

(1)2018年1月期の失業率は、10.8%。前年同期から2.2ポイントの下落、前月から0.4ポイントの上昇。

(2)労働力人口は3,144万人、就労者数は2,803万人、失業者数は341万人。

(3)男性の失業率は9.8%、女性は13.7%。若年層(15-24歳)の失業率は19.9%となっている。



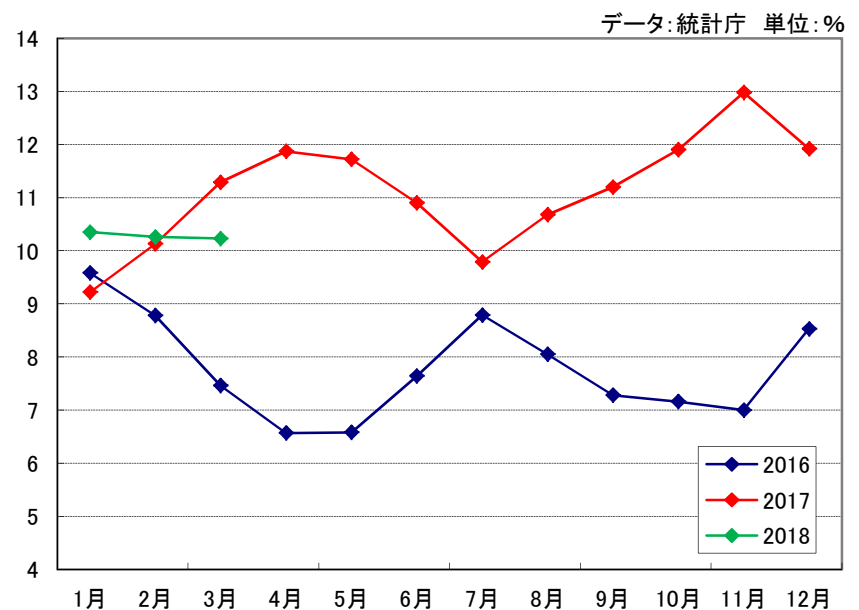
物価上昇率(3月)

(1)2018年3月の消費者物価は前月から0.99%の上昇。年間では10.23%の上昇。

(2)分野別に見ると、前月と比べて最も上昇したのは食品・非アルコール飲料で2.57%。年間で最も上昇したのは家具・住宅設備で15.41%。

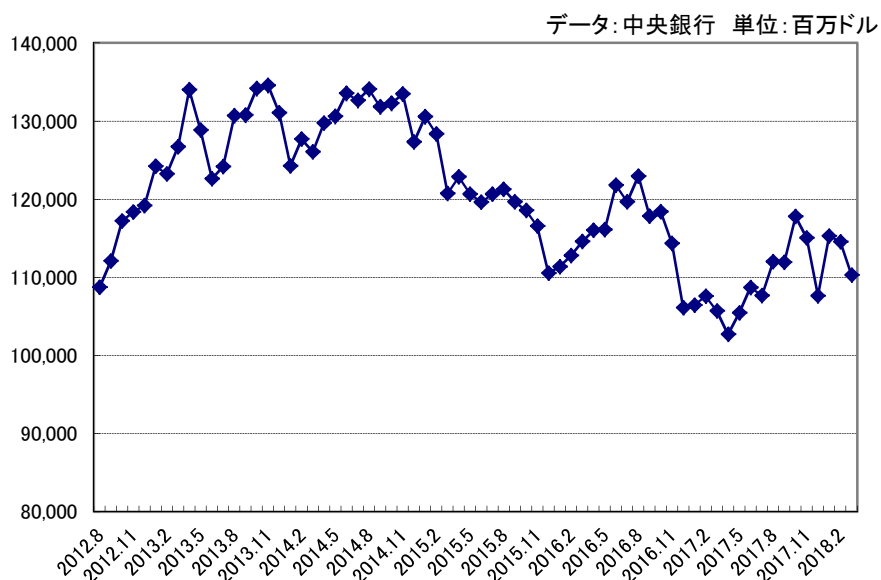
(3)本年末の中銀見通しは7.9%。

(4)国内生産者物価指数は前月から1.54%上昇し、年間で14.28%の上昇となった。



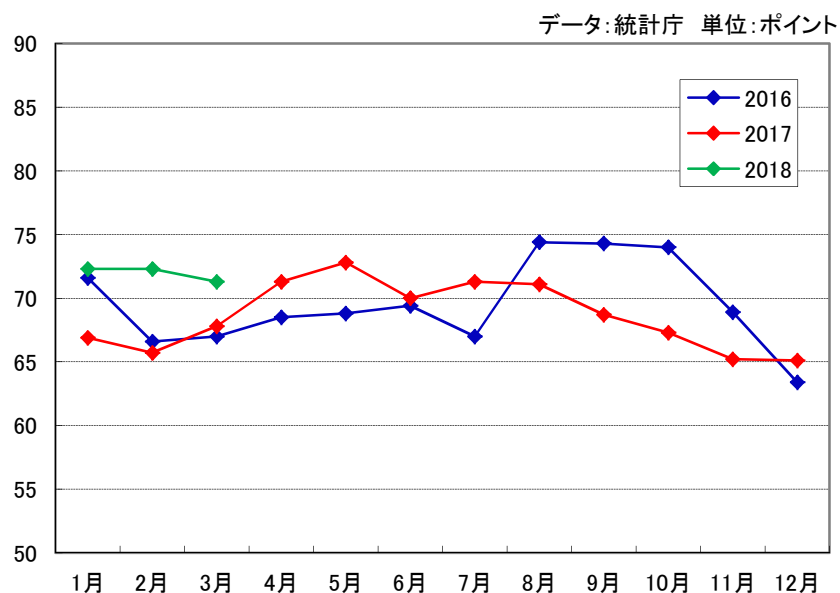
外貨準備高(3月)

(1)2018年3月時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,103億ドルとなった。
 (2)外貨準備高は、一時1,300億ドルを超えていたが、現在は1,100億ドル付近で増減を繰り返している。



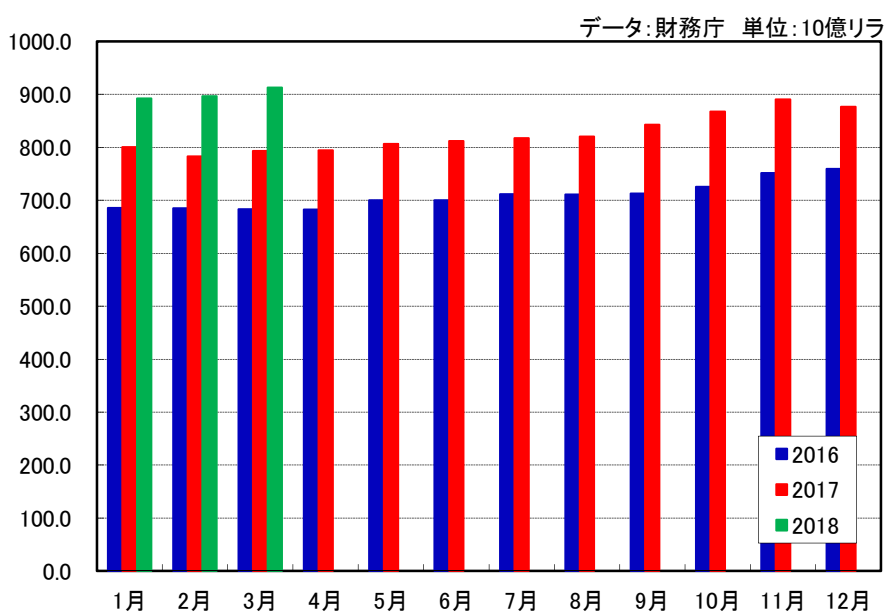
消費者信頼感指数(3月)

(1)2018年3月期の消費者信頼感指数は前月から1.3%下落し71.3ポイントとなった。
 (2)内訳では、貯蓄可能性が1.2%上昇し26.0ポイントとなったのに対し、失業者数の見通しが2.4%下落し73.5ポイントとなった。



中央政府債務残高(3月)

(1)2018年3月時点での中央政府債務残高は9,131億リラとなり、前年同期比15.1%増加した。なお、前月比では1.8%の増加となった。
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に60.3%となっている(2017年末61.1%)。
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は2.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。